

警 察 署 協 議 会 会 議 録

早良警察署協議会

開催年月日時	平成30年2月15日 午後4時00分 から 平成30年2月15日 午後5時25分 まで	
開催場所	早良警察署 4階大会議室	
出席者	警察署協議会	会長以下9名
	警察署	署長、副署長、会計管理官、生活安全管理官、 地域管理官、刑事管理官、交通管理官、警備課長 総務第一課長、総務第二課長、被害者支援係長
議 事 概 要		
<p>【会長挨拶（要旨）】</p> <p>2月1日に福岡県警察署協議会会長連絡会議が開催され、早良警察署協議会の代表として出席した。警察本部からは、「平成29年中の治安概況及び平成30年福岡県警察運営指針等について」、「飲酒運転の撲滅に向けた取組について」の報告があった。</p> <p>住民の防犯意識の高まりとともに、県警による各種取組が前進した結果、治安水準の数値的改善がみられるなど目に見える成果が出ている。一方で、県内にはまだ五つの暴力団事務所が存在しており、飲酒運転撲滅運動の希薄化、性犯罪の認知件数の高水準での推移、ニセ電話詐欺被害の急増など県民が真に安全・安心を実感できるまでには至っていないのが現状である。</p> <p>県警として引き続き平成30年も昨年と同様の運営指針、三大重点目標を推進していき、県民の安全・安心の確保に向けて組織一丸となって各種課題に取り組む方針であり、警察活動に対するご理解とご協力を依頼したい旨の報告があった。</p> <p>【署長挨拶（要旨）】</p> <p>早良警察署管内の平成29年の刑法犯認知件数は一昨年と比較すると減少し、3000件を切ったものの、県下の警察署では上位の件数である。</p> <p>刑法犯認知件数を引き下げ、社会の耳目を引く大きな事件もなく、管内の治安を多少なりとも改善していると思うが、年末に連続ひったくりが発生し、強盗、傷害、暴行等の粗暴犯においては増加傾向が見られるので、さらなる治安回復に</p>		

議 事 概 要

向けて対策を講じていきたい。

ここ数年、早良署管内の交通死亡事故は、減少傾向にあるが、交通事故の人身事故件数は横ばい状態である。交差点関連や高齢者の事故が多く、飲酒運転事故も発生していることから、交通指導取締り、交通安全教育、交通規制等の対策を講じていきたい。

ニセ電話詐欺の関係は、県警全体で被害総額が増加し、早良警察署管内でも被害が多発していることから、引き続き、首謀者の検挙と、高齢者の再被害の防止活動をに取り組んでいく。

今年は署員の総意で署訓を改正し、「強く、正しく、誠実に」とした。これを署員の理念とし、心を一つにして頑張っていきたい。

【各課からの報告事項等】

平成30年早良警察署各課重点推進事項

1 生活安全関係（生活安全管理官）

(1) 生活安全課

- 生活安全警察における暴力団の壊滅
- 子ども・女性を性犯罪被害から守るための対策の推進
- ニセ電話詐欺等身近な犯罪の抑止
- 恋愛感情等のもつれに起因する暴力的事案に対する迅速かつ的確な対応
- 県民生活を脅かす生活経済事犯対策の推進
- サイバー空間の安全と安心を確保するための対策の推進

(2) 少年課

- 暴力団への人的供給の遮断及び悪質な福祉犯の取締りの強化
- 少年による性犯罪の防止と被害少年の保護対策の推進
- 児童の安全の確認及び安全の確保を最優先とした児童虐待への対応
- 非行及び犯罪被害等の未然防止に向けた諸対策の推進
- 児童の性的搾取等に係る対策の推進

2 地域関係（地域管理官）

- 110番、相談事案等に対する迅速的確な初動措置
- 三大重点目標の達成に向けた地域警察活動の推進
- 積極的な街頭活動の推進
- 精強な地域警察の構築
- 通信指令における初動警察活動の強化

3 刑事関係（刑事管理官）

(1) 刑事第一課

議 事 概 要

- 性犯罪の早期・徹底検挙に向けた攻めの捜査の推進
- 重要凶悪事件に対する的確な初動捜査と徹底検挙
- 人身安全関連事案への積極的な関与
- 特殊事件に対する的確な対応
- 適正かつ的確な検視業務の推進

(2) 刑事第二課

【知能犯係】

- 暴力団員等が関与する知能犯対策の強化
- 特殊詐欺対策の推進
- 政治・行政・経済をめぐる構造的不正の追及強化
- 告訴・告発への適正かつ迅速、的確な捜査の推進

【暴力犯係】

- 暴力団等に対する取締りの強化
- 暴力団等の組織犯罪情報収集及び情報の共有化の推進
- 暴力団排除活動の推進
- 組織的な暴力団からの離脱促進・就労支援対策の推進
- 保護対策の徹底
- 犯罪収益対策の推進

【薬物銃器対策係】

- 薬物銃器対策の推進

(3) 刑事第三課

- 重要窃盗犯及び連続発生する窃盗事件の検挙向上

4 交通関係（交通管理官）

(1) 交通第一課

- 飲酒運転を許さない社会環境づくりの推進
- 飲酒運転撲滅に向けた交通指導取締りの強化及び運転教育の推進
- 交通警察活動を通じた暴力団排除の推進
- 交通事故分析の高度化と分析結果に基づく交通事故抑止対策の推進
- 安全で快適な交通環境の整備
- 交通事故抑止に資する交通指導取締りの推進
- 総合的な暴走族及び旧車會対策の推進
- 的確な運転者対策・運転適正相談の推進
- 迅速かつ確実な行政処分への推進

(2) 交通第二課

- 交通事故の抑止に向けた交通事故事件捜査の推進

議 事 概 要

- 適正かつ緻密な交通事故事件捜査及び被害者支援の推進

5 警備関係（警備課長）

- テロの未然防止と災害対策の強化

【報告事項に対する質疑応答】

- 委員から、「ニセ電話詐欺防止について、ニセ電話詐欺被害防止機器が効果的とあるが市販の迷惑防止機能付き電話とどう違うのか。」旨の質疑があり、生活安全管理官から、「市販の機器も同様の機能を有しており、変わりはない。」旨の回答があった。
- 委員から、「ニセ電話詐欺について、若年者が騙されるのは心当たりがあるからなのか。」旨の質疑があり、生活安全管理官から、「年齢に関係なくスマホなどでインターネットを使用される方が言葉巧みに誘導され被害に遭う場合が多い。」旨の回答があった。
- 委員から、「110番通報について、緊急事態でない場合でも110番通報は可能なのか。」旨の質疑があり、地域管理官から、「急を要する場合は110番通報であるが、相談や遺失、拾得の問い合わせ等の緊急の要件でなければ、#9110の活用や警察署、交番へ通報してもらいたい。」旨の回答があった。

【会長総括】

昨年の重点施策の項目の進捗状況を検証し、署員一致団結して今期の目標に向けた活動等を推進し、より一層の成果を出していただきたいと思っている。

警察署協議会の役割は、警察行政と連携して市民が安心して生活できる環境をいかにつくるかであり、引き続き協力していきたい。